LIXIL
TOEX

施主様用

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

快適に使用していただくために

取扱説明書 自然浴生活

キャスティナB・C錠・ELA錠

もくじ

1.安全のために必ず守ってください……1
2.各部の名称……4
3.使用方法……6
3-1 錠の操作方法……6
3-2 落し棒の操作方法……7
3-3 施錠・解錠方法……9
3-4 家側の施錠・解錠方法の変更……10
3-5 オートクローザーについて（オプション）……11
3-6 ご注意とお願い……12
4.お手入れについて……12
5.消耗部品（蓄光リング）について……13
6.修理……13

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

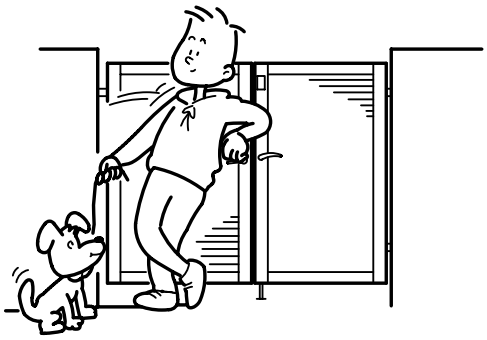
UA100_201301F

1　安全のために必ず守ってください

⚠注 意

● 開閉操作をする前に周囲に人がいないこと、および物がないことを必ず確認してください。扉にはさまれたりぶつかったりして、ケガをするおそれがあります。特に、お子様の飛び出しなどに注意してください。

⚠注 意

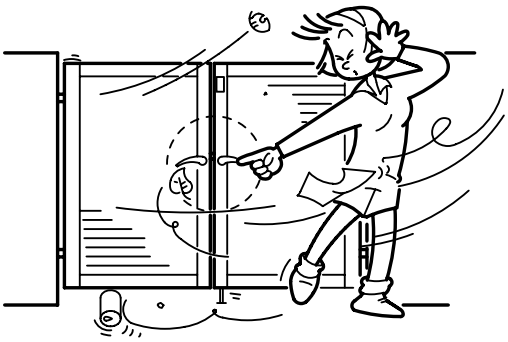


● 門扉に乗ったり、ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。門扉がはずれてケガをするおそれがあります。

⚠注 意

● 門扉を開閉するときは、門柱と扉の間や、扉と扉の間に手や足をはさまないように注意してください。特に風の強いときは、急に開閉しますので注意してください。

⚠注 意

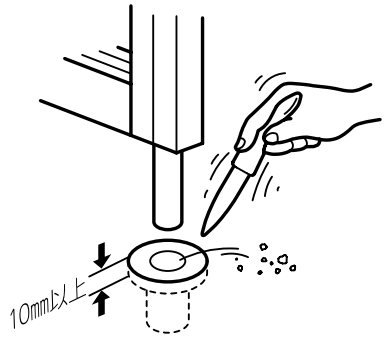


● 強風時には必ず施錠し落し棒をおろしてください。強風で扉が開き、人に当たるおそれがあります。

⚠注 意

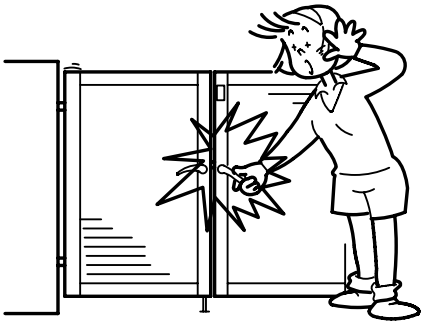
● 落し棒の付いている側の門扉は、必ず落し棒を下げて固定してください。強風で扉が動き、人に当たるおそれがあります。

⚠注 意



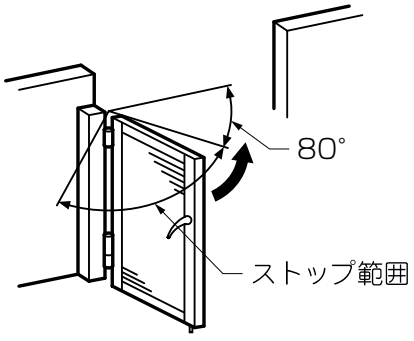
● 落し棒付の門扉では、落し棒受けの土砂を、落し棒の掛かりが10㎜以下になる前に取除いてください。強風で扉が動き、人に当たるおそれがあります。

⚠注 意



● 把手を持って門扉を開閉するときには、扉に手を当てないように注意してください。

⚠注 意



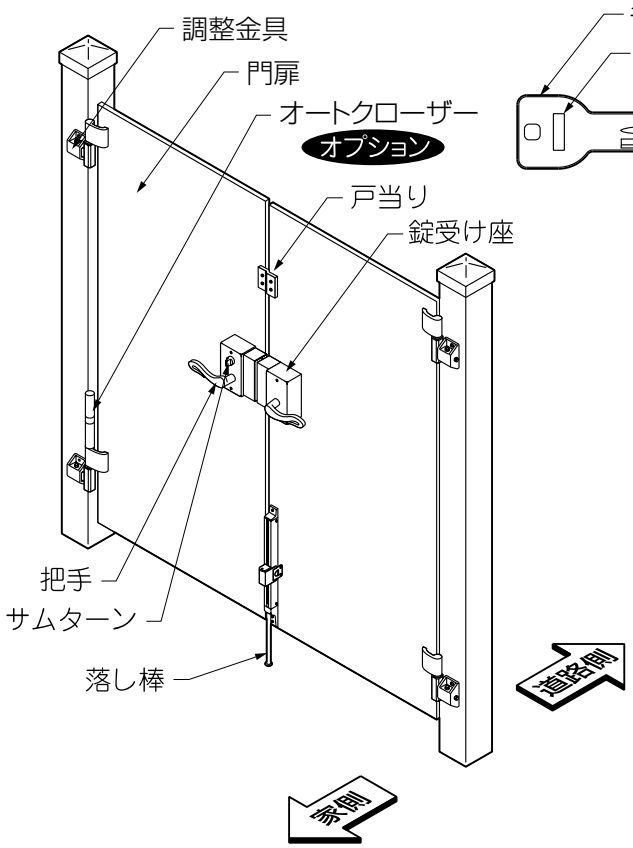
● オートクローザーをストップ範囲のまま放置しないでください。風などで、門扉が急に閉まるおそれがあります。

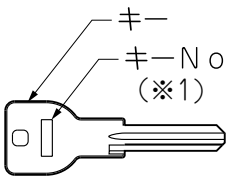
⚠注 意

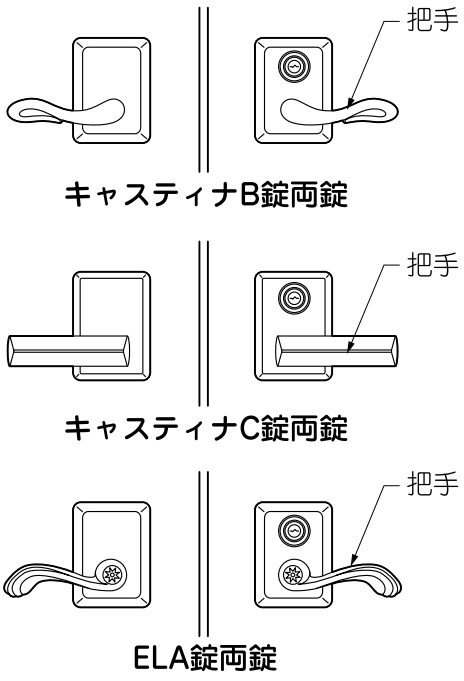
● デザイン上、すきまが小さく指を入れてしまいやすい箇所や、すきまが大きく頭や足を入れてしまいやすい箇所があります。
特にお子様等は、指や頭、足を差込んだりぶらさがったりしないでください。落下やはさまれて事故になるおそれがあります。

2　各部の名称

(1)両開き 本図はキャスティナ錠を用いた場合を示します。



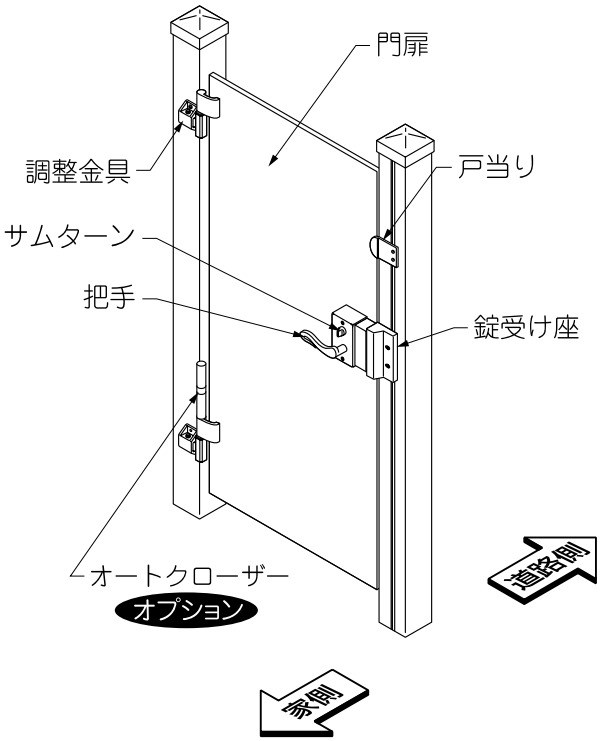


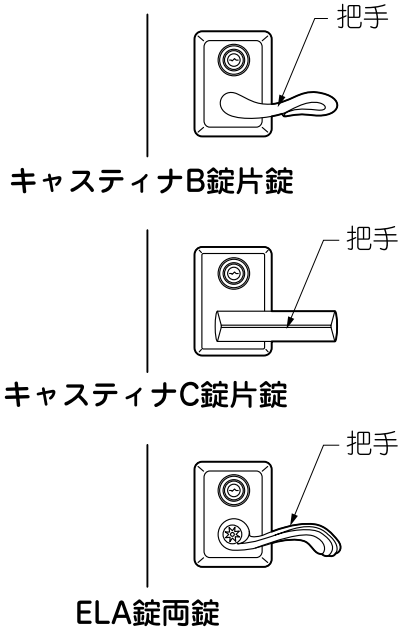


補 足

- キーNoを「6 修理」の欄に控えてください。
  キーNoは、キーの作製時に必要です。（※1）

(2)片開き 本図はキャスティナ錠を用いた場合を示します。

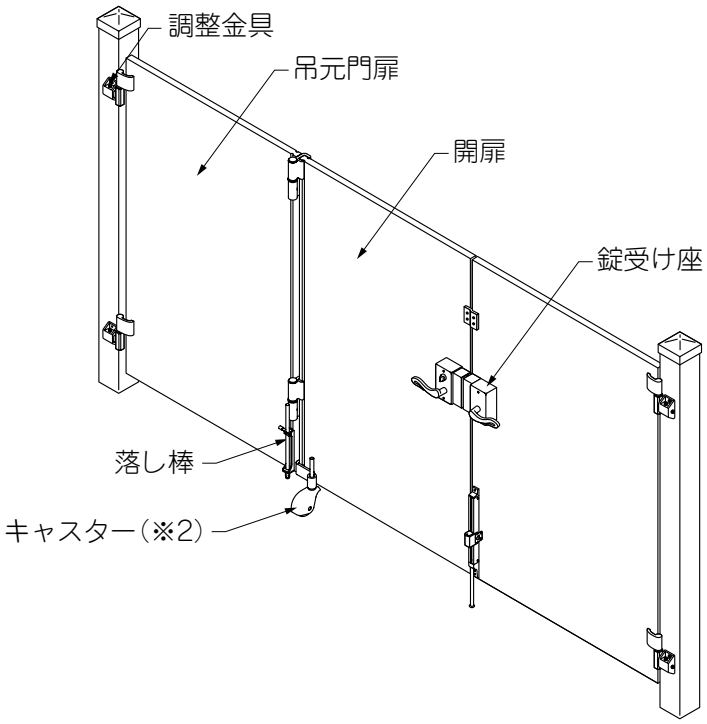




補 足

- キーの形状は両開きと同一です。

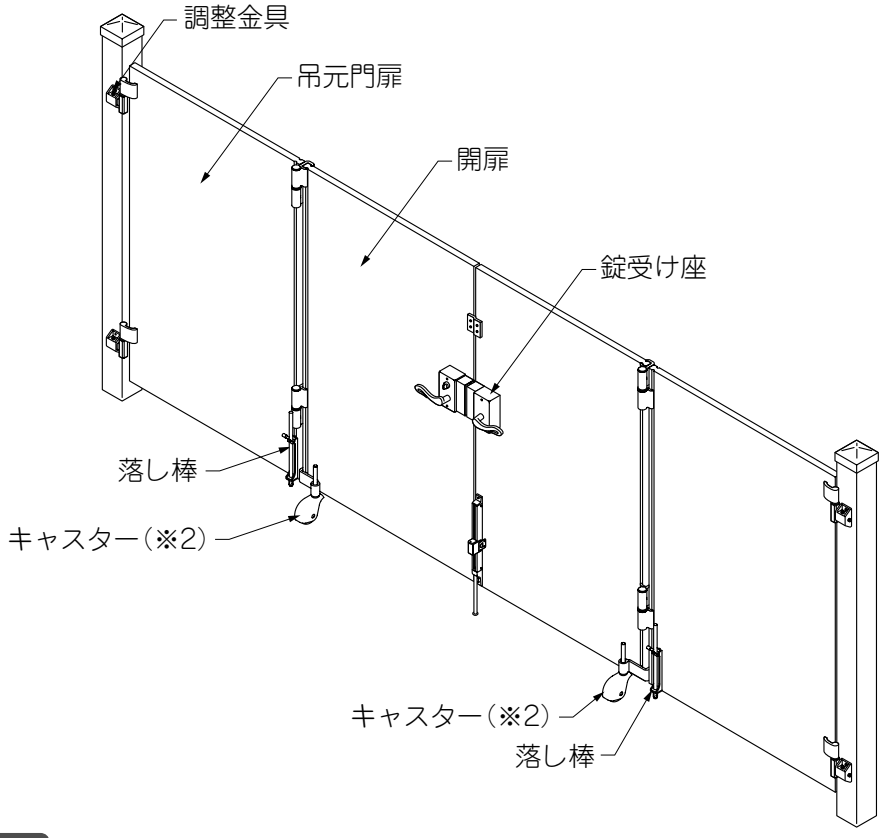
(3) 3枚折戸



補 足

● キャスターは門扉の機種によりオプションです。(※2)

(4) 4枚折戸

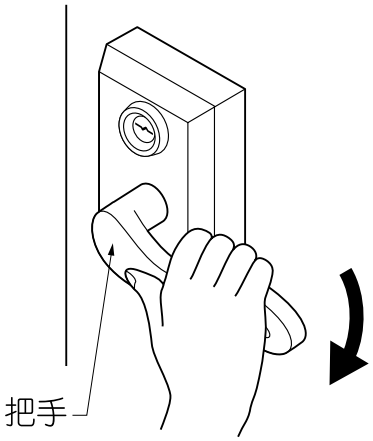


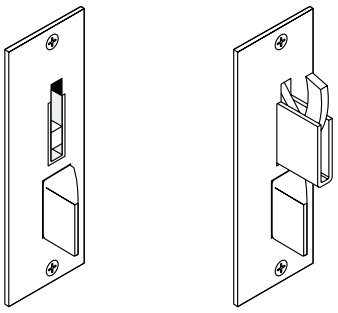
補 足

● キャスターは門扉の機種によりオプションです。(※2)

3　使用方法

3-1　錠の操作方法





解錠状態　　施錠状態

①把手をしたにさげるようにまわすと、ラッチが引っ込み門扉が開きます。

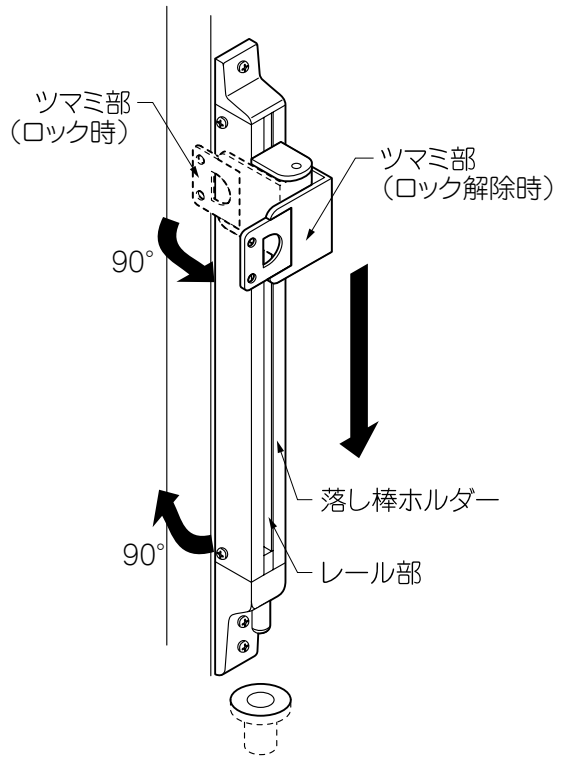
②門扉を閉めるには、把手をもち、門扉を押すか引いて、ラッチが受けに納まるようにします。

お願い

- 門扉を閉めるときは、ラッチが受けに完全におさまるまで把手から手をはなさないでください。把手をもたずに、門扉を押した勢いでしめると、門扉本体や部品を破損するおそれがあります。
- 門扉を閉めるときには、解錠状態であることを確認してください。施錠状態のまま門扉を閉めると、門扉とデッドボルトがぶつかり、部品および本体が破損するおそれがあります。

3-2 落し棒の操作方法

(1) 落し棒の落し方



①門扉を固定するには、落し棒のツマミ部をもち、90°引き起こして落し棒のロックをはずし落し棒を下げ、ツマミ部を再度押し倒してロックをかけてください。

注 意

●落し棒の落し動作中に、落し棒ホルダーのレール部に指を入れないでください。指がはさまりケガをするおそれがあります。

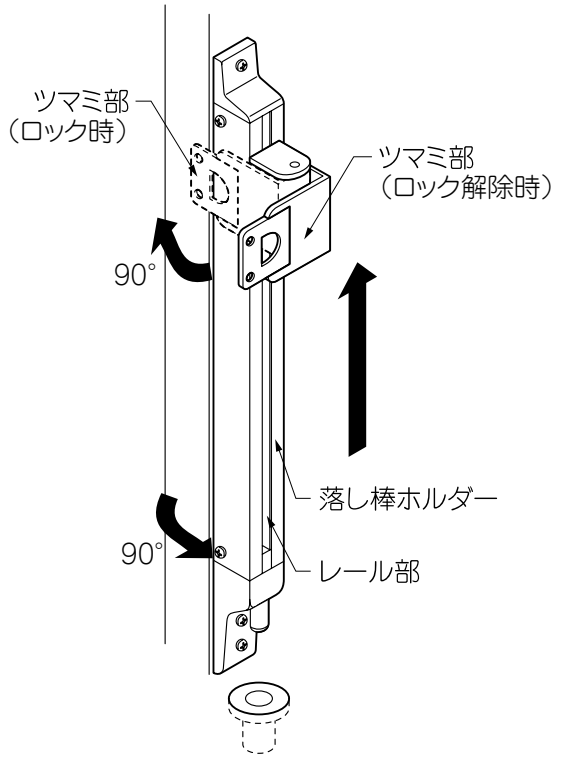
お願い

●落し棒の落し動作を行う場合はかならず落し棒ツマミ部を90°引き起こしてロックが外れたことを確認したのちに行ってください。ロック状態で操作しますと部品が破損するおそれがあります。

補 足

●片開き仕様には落し棒はありません。

(2) 落し棒の上げ方



①落し棒を上げて門扉を開くには、落し棒のツマミ部をもち、90°引き起こして落し棒のロックをはずし落し棒を持ち上げ、ツマミ部を再度押し倒してロックをかけてください。

注 意

●落し棒の上げ動作中に、落し棒ホルダーのレール部に指を入れないでください。指がはさまりケガをするおそれがあります。

お願い

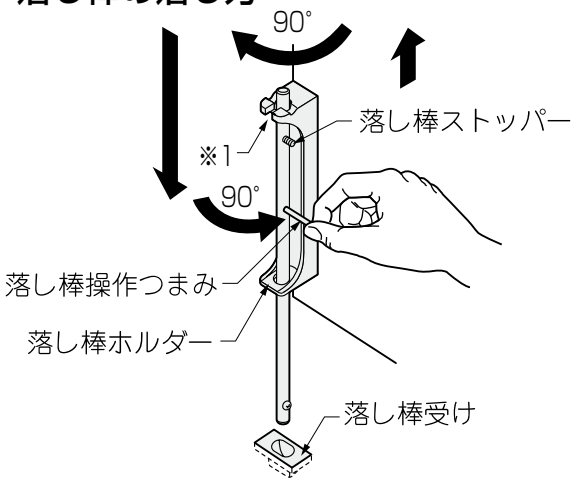
●落し棒の上げ動作を行う場合はかならず落し棒ツマミ部を90°引き起こしてロックが外れたことを確認したのちに行ってください。ロック状態で操作しますと部品が破損するおそれがあります。

補 足

●片開き仕様には落し棒はありません。

●折戸仕様の場合

（1）落し棒の落し方

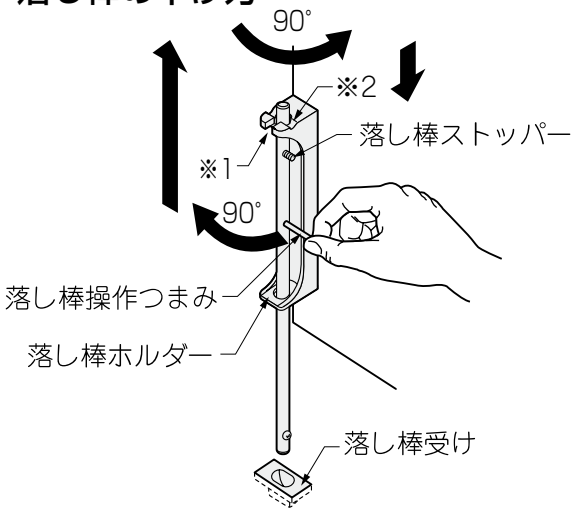


①門扉を固定するには、落し棒受けのあるところで落し棒操作つまみを持って、落し棒を少し持ち上げます。
②落し棒操作つまみと落し棒ストッパーを、落し棒ホルダーのミゾ（※1）を通しながら下げます。
③落し棒を落し棒受けに入れ、落し棒操作つまみを90°回転します。

補 足

● 3枚折戸・4枚折戸のみです。

（2）落し棒の下げ方



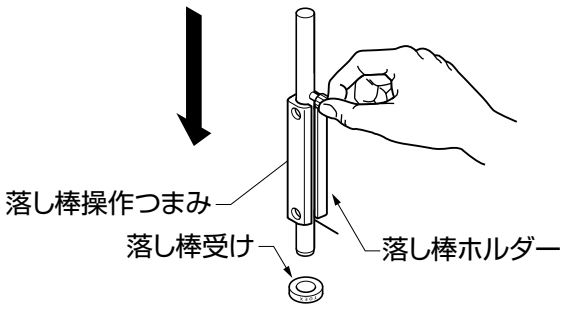
①落し棒を上げて門扉を開くには、落し棒操作つまみと落し棒ストッパーを、落し棒ホルダーのミゾ（※1）を通して持ち上げます。
②落し棒操作つまみを90°回転して、落し棒ホルダーの受け部（※2）に落し棒操作つまみをのせます。

補 足

● 3枚折戸・4枚折戸のみです。

●ラフィーネ門扉の場合

（1）落し棒の落し方

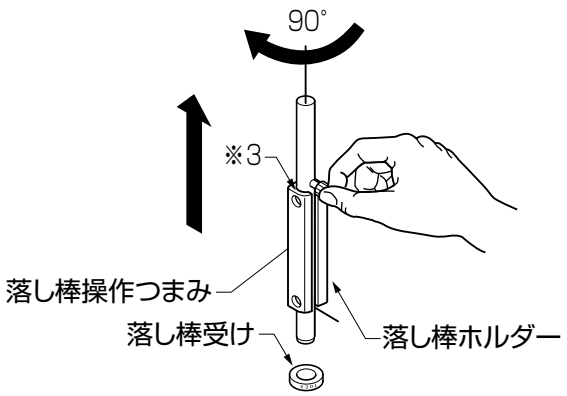


①落し棒受けのあるところで、落し棒操作つまみをゆるめます。
②落し棒操作つまみを下げ、落し棒を落し棒受けに入れます。
③落し棒操作つまみをしめこみます。

補 足

● 片開き仕様には落し棒はありません。

（2）落し棒の上げ方



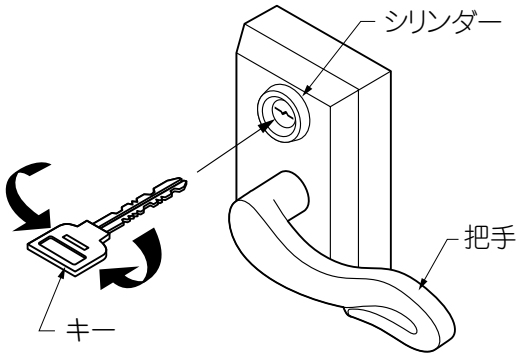
①落し棒操作つまみをゆるめます。
②落し棒操作つまみを持ち上げ、落し棒操作つまみを90°回転して、落し棒ホルダーの上（※3）に落し棒操作つまみをのせます。

補 足

● 片開き仕様には落し棒はありません。

3-3 施錠・解錠方法

（1）道路側　※図は、右勝手の場合を示します。

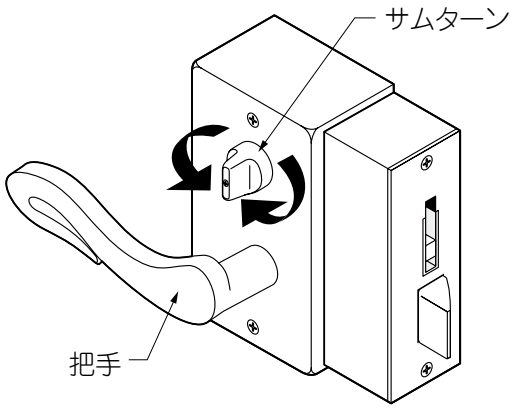


①キーで施錠・解錠するには、表3-1にしたがって操作します。

表3-1　キーの操作

	右勝手	左勝手
施錠	時計回り	反時計回り
解錠	反時計回り	時計回り

（2）家側　※図は、右勝手の場合を示します。



①サムターンで施錠・解錠するには、表3-2にしたがって操作します。

表3-2　サムターンの操作

	右勝手	左勝手
施錠	サムターンを押し込んだ後反時計回り	サムターンを押し込んだ後時計回り
解錠	サムターンを押し込んだ後時計回り	サムターンを押し込んだ後反時計回り

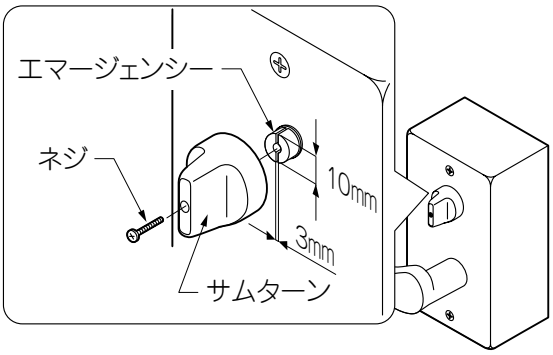
⚠注 意

- サムターンを回す際は必ず押してから回してください。押さずに強引に回しますと部品を破損するおそれがあります。

補 足

- サムターンにて施錠または解錠を行った場合、サムターンのツマミ部は必ずもとの位置（ツマミが縦になる位置）にもどしてください。

3-4 家側の施錠・解錠方法の変更



補足

- エマージェンシー機構に変更すると、家側の施錠・解錠操作が素手ではできなくなり、外側から手を伸ばして解錠する、等のいたずらを制約することができます。

①中央のネジをゆるめ、サムターンを取外します。これで「エマージェンシー操作」に変更することができます。

注意

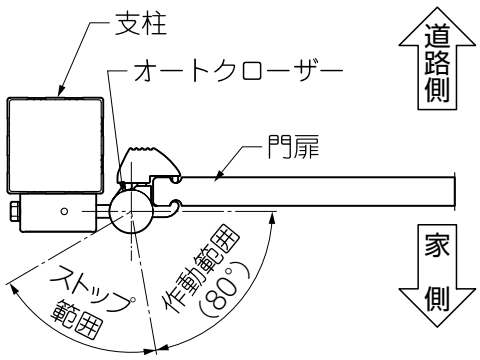
- エマージェンシー機構は、いたずらをある程度抑止できますが、部外者の解錠操作を完全に防止するものではありません。

補足

- 「エマージェンシー機構」で施錠・解錠するには、3㎜×10㎜幅の溝に入るキーの先端やコイン、マイナスドライバーなどを差し込んで押しながら回転してください。
- 「エマージェンシー機構」にて施錠または解錠を行なった場合、「エマージェンシー機構」の溝を必ずもとの位置（溝が縦になる位置）にもどしてください。

3-5 オートクローザーについて（オプション）

（1）内開き



補足

●オートクローザー付門扉には、作動範囲とストップ範囲があります。

①門扉を開いた後、作動範囲内であれば自動的に閉まります。

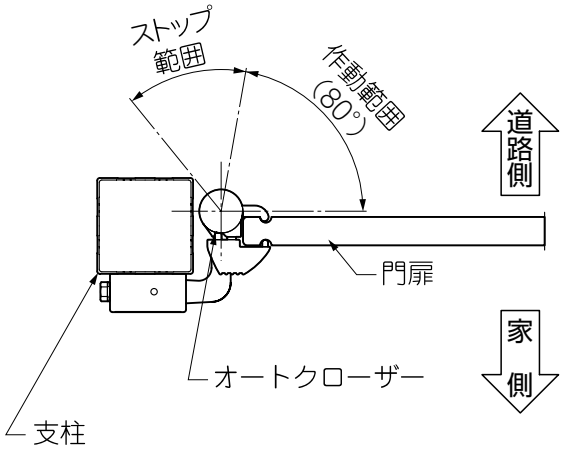
②門扉をストップ範囲まで開くと、簡易的に止めることができます。

③閉じる場合は、作動範囲まで門扉を閉めます。

お願い

●オートクローザーで門扉が作動中のときは、門扉に触れないでください。無理な力を加えると、門扉取付部に損傷を与えるおそれがあります。

（2）外開き



補足

●内開きと外開きでストップ範囲が変わります。
●外開きの場合、柱が変わるとストップ範囲が変わります。
●オートクローザーの作動範囲およびスピードの調節が必要な場合は、施工店にご相談ください。

3-6 ご注意とお願い

⚠注 意

●部品に異常や不具合が生じた場合は、勝手な分解や調整をせずに、お買いあげの販売店（工事店）にご相談ください。異常作動したり、破損して危険です。

お 願 い

●シリンダー・蓄光リングなどの錠に関する部品の交換は、お買あげの販売店（工事店）にご相談ください。

●キーはメーカー純正のものをご使用ください。なお、キーの作製を行うためには、キーNoが必要です。
キーNoは、11桁の英数字でキーに刻印していますので、「6 修理」の欄に控えてください。

●鍵穴に油や異物を入れないでください。錠の操作ができなくなります。
鍵がスムーズに動かなくなったら、錠前専用潤滑剤を鍵穴に注入してください。
油や市販の合成潤滑剤は、ホコリを吸着し、かえって動きを悪くしますので使用しないでください。

●錠が凍結して動かなくなった場合は無理に動かさず、市販のスプレー式霜取り剤を使用してください。

●門扉の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、表面に付着しないようにしてください。表面が変色するおそれがあります。

4 お手入れについて

(1) 汚れの取り方

①年に２～３回水洗いをして拭きとってください。
a.汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭き、乾拭きをしてください。
b.汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落したあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

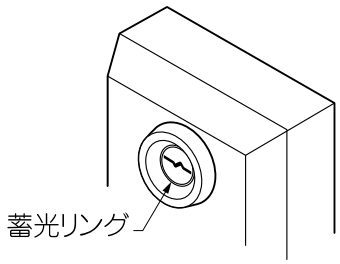
お 願 い

●シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。塗料がはげることがあります。

(2) キズの補修

①あやまってキズをつけた場合、弊社純正補修塗料で補修してください。放置すると腐食の原因になります。

5　消耗部品（蓄光リング）について



⚠注 意

● 蓄光リングは消耗部品です。経年変化により蓄光能力が衰えますので、数年に一度交換する必要があります。蓄光リング交換につきましては、お買い上げの販売店（工事店）にご依頼ください。

6　修 理

●製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
●修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご　氏　名	
製　品　名		ご　住　所	
施　工　日	年　　月　　日	電 話 番 号	
施 工 店 名		キ ー No.	

●消耗品は寿命があり、有償保証となります。

（1）点検および修理料金のしくみ

●修理料金は技術料、部品代、出張料などで構成されています。
・技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換、調整などの作業にかかる費用です。
・部品代は、修理に使用した部品代です。
・出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品、製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

（2）交換用部品について

●お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。
リクシルパーツショップ　**http://partsshop.lixil.co.jp/shop/**
掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター 0120-126-001 にご連絡ください。

メモページ

キャスティナB・C錠・ELA錠　保証書

製造No. （商品名シールNo.）		
保証期間	対象部品	期間（お引渡し日より）
	本体	2ヶ年
	但し電装部品	1ヶ年
お引渡し日	年　月　日	
お客様	ご住所	
	お名前　様	
	電話　（　）	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施工店	住所・店名　印 電話　（　）

株式会社 LIXIL
〒136-8535　東京都江東区大島2-1-1

1. **保証者**
   株式会社LIXIL
2. **保証の対象者**
   当該商品の所有者
3. **対象商品**
   トステム、新日軽、TOEXのブランドで販売しているエクステリア商品、ガーデンリビングファニチャー&グッズ商品
4. **保証内容**
   取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
5. **保証期間**
   当該商品の施工完了日（お引き渡し日※）から起算して2年間。（電装部品及び木製部品については1年間）ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。
   ※注）新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
6. **品質保証の免責事項**
   保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
   ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工（基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など）、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合（海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など）。
   ②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。
   ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。
   ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
   ⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のさくれ、ヒビ割れ、変色、ねじ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
   ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象（例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）。
   ⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合（例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など）。
   ⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起きる腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など）。
   ⑨天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
   ⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
   ⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
   ⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取り外し含む）に起因する不具合。
   ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
   ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。
※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、LIXIL修理受付センターにてもご相談を承ります。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで
http://www.lixil.co.jp/

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）
TEL. 0120-126-001　FAX.03-3638-8447

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）
TEL. 0120-4134-33　FAX. 0120-4134-36
http://www.lixil.co.jp/support/

※当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入や商品保証書を通じて取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの『プライバシーポリシー』（http://www.lixil.co.jp/privacy/）をご覧下さい。

取説コード
UA100
KBN572379E
200209A_1006
201301F_1047